

## QND8.2 導入編 正誤表

ページ	誤	正	
7	2-4 クライアントのスペック	…「付録D-2 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。	→ …「付録D-3 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。
32	手順5下の注意 2行目	…「付録D-2 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。	→ …「付録D-3 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。
32	手順5下の注意 4行目	…「付録D-2-1 Macintoshクライアントでの準備」を参照してください。	→ …「付録D-3-1 Macintoshクライアントでの準備」を参照してください。
40	Autorun.iniファイルの「Executable=」の指定例	例3:…d:¥folder¥qndagent.exe	→ 例3:…%d:¥folder¥qndagent.exe
71	スレーブサーバのバージョンアップ 手順7	…「4-3 QNDエージェントの作成と用意」を参考にしてください。	→ …「5-3 QNDエージェントの作成と用意」を参考にしてください。
72	手順7の画面例		→ ※正しい画面例は「画面例A」を見てください
77	推奨構成 [管理対象PC: 500クライアントの場合] 表	QNDサーバ: ディスク 10GB	→ 30GB
77	推奨構成 [管理対象PC: 1000クライアントの場合] 表	QNDサーバ: ディスク 30GB	→ 100GB
78	推奨構成 [管理対象PC: 1000クライアント以上の場合] 表脚注	*5:…InternetExplorer4.0以上…	→ *5:…InternetExplorer5.0以上…
78	推奨構成 [管理対象PC: 1000クライアント以上の場合] 表脚注	*6:…「付録D-2-1 Macintoshクライアントでの準備」…	→ *6:…「付録D-3-1 Macintoshクライアントでの準備」…
78	[QNDサーバのスペック 計算方法] 表	ディスク容量: QNDサーバ 1MB × ホスト数	→ 3MB × ホスト数
78	[QNDサーバのスペック 計算方法] 表	ディスク容量: Directoryサーバ 5KB × ホスト数	→ 15KB × ホスト数
80	表脚注	※2 …「付録D-2 Macintoshクライアントの制限」…	→ ※2 …「付録D-3 Macintoshクライアントの制限」…

画面例A

Dホスト: 3    SNMPホスト: 0    アクセス数: 0    最大数: 0									
s	SU	QP...	接続先	サー...	言語	ホストドメイン名	HWインベントリ取...	OSバージョン	◎
Yes	8.2..	192.168.xx...		N/A	Ja..	QDEV	2003/01/10 ..	Windows2000..	In
Yes	8.2..	192.168.xx...		8.2..	Ja..	WORKGROUP	2003/01/07 ..	Windows2000..	In
Yes	8.2..	192.168.xx...		N/A	Ja..	WORKGROUP	2003/01/07 ..	Windows2000..	In

## QND8.2 運用編 正誤表

ページ	誤		正
44	手順6	…「4-3 電子メールを使う場合」を参照してください。	→ …「4-2 電子メールを使う場合」を参照してください。
94	表 [送信先]	…p18の…	→ …p92の…
108	4-2 電子メールの送信 手順5	送信先を確認して[次へ]をクリックします。	→ [送信先]に表示されているホストが正しい送信先であるか確認し、[参照するQNDサーバアドレス]に表示されているQNDサーバからタスク処理時に参照するQNDサーバをクリックし反転させて[次へ]をクリックします。
108	手順5の画面例		→ ※正しい画面例は「画面例B」を見てください。
109	[参照するQNDサーバ アドレス]	スレーブサーバがある場合は、[▼]をクリックして、QNDエージェントが接続するサーバを選択することができます。	→ QNDエージェントが接続するサーバを選択します。スレーブサーバがある場合は、該当するスレーブサーバをクリックし反転させて選択します。
162	2-3 特定のタスクを使って収集したインベントリ情報のみを表示する	[ツール]-[サーバ固有の設定]…で指定されたディレクトリ以下に指定した…	→ [ツール]-[サーバ固有の設定]…で指定されたディレクトリ内のtaskディレクトリ以下に指定した…
163	画面の[インベントリの保存場所]の説明	ディレクトリを入力する必要はありません。	→ UNC名やローカルパスで入力する必要はありません。
172	●[ライセンス]タブでの設定	…CPUライセンスを2001年10月1日に50ライセンス、2002年3月31日に30ライセンス購入した。	→ …CPUライセンスを2003年1月15日に50ライセンス、2003年2月15日に30ライセンス購入した。
175	手順7の画面の「ライセンス情報一覧」吹き出しの説明	・2003年1月15日に購入した30ライセンス	→ ・2003年2月15日に購入した30ライセンス

画面例B

宛先の設定

送信先:

ホスト名	電子メールアドレス
PC01	PC01@quality.co.jp

参照するQNDサーバアドレス:

サーバ名	IPアドレス	サーバホストID
DOC03	192.168.xx.xxx	f7cc420c69ac7e2fee114ed400bd270f

<戻る(B)      次へ(N)>      キャンセル

## QND8.2 リファレンス 正誤表

ページ	誤	正	
33	表 [参照するQNDサーバアドレス]	…タスク処理時に参照するQNDサーバを変更する場合は、[▼]をクリックして、リストボックスからサーバを選択します。	→ …タスク処理時に参照するQNDサーバをクリックして反転させます。
39	画面例		→ ※正しい画面例は「画面例C」を見てください。
40	[タスクログとの連携をする]の機能説明を追加		→ 別紙「タスクログとの連携機能」を参照のこと
55	表 [電子メールアドレス]	…[電子メールアドレス]の…	→ …[送信先アドレス]の…
56	6-15 電子メールアドレスのインポート	…ホスト一覧上に…	→ …ホスト一覧の[送信先アドレス]に…
89	[コンピュータをシャットダウン]の注意として追加		→ <b>■注意</b> シャットダウンを指定して電源を切る場合 <b>■</b> 電源の自動切断に対応しているWindowsNT/2000マシンで、シャットダウン後電源を自動的に切断する場合、あらかじめレジストリの以下のキーを次のように設定してください。 キー名 : HKEY_LOCAL_MACHINE¥Microsoft¥WindowsNT¥Current Version¥Winlogon 名前 : PowerdownAfterShutdown 値 : 1 ただし、電源の自動切断に対応していないマシンで上記の設定をするとシャットダウンをしようとしても、再起動してしまいます。
123	[変更のあったファイルだけをコピーする]	…転送元ファイルと転送先ファイルと比較し、更新日やサイズ、内容が異なる場合に…	→ 転送元ファイルと転送先ファイルを比較し、バージョンやサイズ、バイナリが異なる場合に…
191	●スレーブサーバが使用するポート番号表の2行目	27706 TCP	→ 27706 UDP
216	メッセージの送信による変更	…宛先の設定ダイアログで[参照するQNDサーバのアドレス]を変更します。このQNDエージェントをホスト側が実行すると、指定したQNDサーバに接続し、デフォルトサーバが変更されます。	→ …宛先の設定ダイアログの[参照するQNDサーバのアドレス]よりデフォルトサーバにしたいQNDサーバをクリックして反転させます。このQNDエージェントをホスト側が実行すると、指定したQNDサーバに接続し、デフォルトサーバが変更されます。
216	宛先設定ダイアログの画面例		→ ※正しい画面例は「画面例D」を見てください。

## 画面例C

スケジュールの追加・設定

スケジュール名:

タスク名: HW

エージェントが接続するサーバ名: デフォルトサーバ

実行のスケジュール

今すぐ実行

指定した日に一回だけ実行

繰り返し実行

毎日 実行しない日:  月  火  水  木

毎週   金  土  日

毎月

毎ログオン時

毎ログオフ時

定期的な間隔  分ごと

毎スタンバイ解除時

指定したスケジュール後に実行

実行するタイミングの指定:

指定した時刻(24時間制で指定)  時  分

ログオン時

ログオフ時

スタンバイ解除時

実行に失敗した場合

再び実行を試みる 間隔:  分 回数:  回

上記の条件で失敗した場合次回ログオン時に実行を試みる

その他の設定

ユーザからの入力待ち時間  
(この時間以上なにも入力がないと自動的に入力待ちを終了):  秒

Wake On LANを使って起動させる

SNMPを使ってインベントリの取得  
コミュニティ:

タスクログとの連携をする

この時間が経過したらスケジュールを再実行(分):

タスクログによるスケジュール再実行回数:

## 画面例D

宛先の設定

ユーザー一覧:

ユーザー名	電子メールアドレス	部署	W32	W16	Mac
PC01	user01@quality.co.jp	営業部	*		
PC02	user02@quality.co.jp	経理部	*		

送信先:

追加(+) 削除(D)

ユーザー名	電子メールアドレス	部署	W32	W16	Mac
-------	-----------	----	-----	-----	-----

参照するQNDサーバアドレス:

サーバ名	IPアドレス	サーバホストID
QNDServer	192.168.xx.xxx	f7cc420c69ac7e2fee114ed400bd270f
QNDslave	192.168.xx.xxx	y9ss8d2s39de4a6zz66w895dd54cw5q

<戻る(B) 次へ(F) > キャンセル

### QIV4.3 正誤表

ページ	誤		正
8	2-2-2 プラグインイベントリの収集手順5	…プラグイン「AdobeInfo」をクリックします。	→ …プラグイン「AdobeInfo」、あるいは「AutoCAD」をクリックします。
42	●エージェントの作成手順1	…詳しくは「QND Ver.8.2ユーザーズガイド Vol.1導入編」…	…詳しくは「QND Ver.8.2 導入編」…
64	注意 項目の設定をデフォルト設定に戻す	… •APP-InstallList •REG-PC •SW-INSTALL(1)(2)(3) •SW-KEY	→ … •APP-InstallList •REG-PC •SW-INSTALL(1)(2)(3) •SW-KEY •SW-AutoCAD/SW-AutoCAD(シリアルナンバー)
69	6-4 定期的に集計/出力する ヒント	サンプルファイルとして、「¥QIV¥wait.conf.sample」と…	→ サンプルファイルとして、「¥QIV¥schedule¥wait.conf.sample」と…
69	6-4-1 集計/出力処理のタイミングを指定する ¥QIV¥schedule¥wait.confファイルの画面例	毎時: eh:mm 毎日: ed@hh:mm 毎週: ew@[SUN-SAT]@hh.mm 毎月: em[dd or 99]@hh.mm	→ 毎時: eh:nn 毎日: ed@hh:nn 毎週: ew@[SUN-SAT]@hh.nn 毎月: em[dd or 99]@hh.nn